

10・21国際反戦デーへ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年10月11日
No.415

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

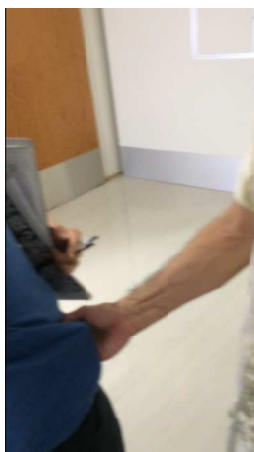
沖大・仲地博学長を徹底追及!

●沖大自治会委員長 赤嶺知晃君からの報告!



10月7日、京大処分撤回署名が沖大で続々と集まる中で追い詰められた沖大当局が、沖大自治会委員長の僕を暴力的にキャンパスから排除するという暴挙を働きました。3限目終わりの休み時間中に、沖大学長・仲地が歩いて来たので、「新聞で辺野古不当判決で『県民の結束は強まる』と言ってたが沖大でやってるビラまき禁止や集会禁止でどうやって声を、あげるのか?」と質問しました。

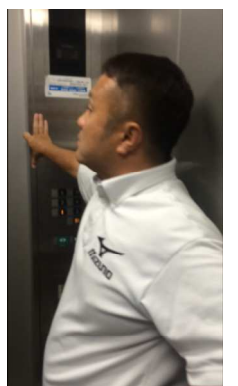
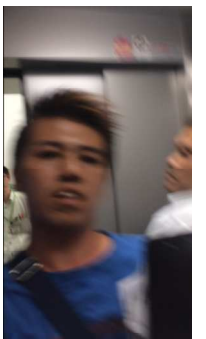
仲地は、「(ビラまきの禁止は)平穏と秩序を守るために必要だからだ。学習や研究のための」と開き直りました。沖大学長・仲地のふざけたあり方に対して、「学生が、ビラまきや集会をする権利もなく、学生が自由に討論もできない大学で、何が『学習』『研究』なのか?」と質問を続けていると、学長室前にいた職員が通報(写真左上)し、職員が「やめろ」と5~6人で掴みかかり、排除してきました!(写真左下) 学長が新聞で書いてることを読み、学内にいた学長にその内容について質問するという、当たり前



の行為を弾圧することについて、職員は「大学はあなたに開かれていない」「セキュリティのためだ」「そんなに言いたいなら辺野古に行けよ」などと言って、ひたすら暴力的に排除しました。仲地は職員に守られながら学長室に逃げ込みました。

その後は、エレベーターに押し込み、(写真右上)密室の中で僕が地下一階以外で降りれないように執拗に押さえつけ、暴行する。(写真右下) 職員が「セキュリティだ」と言っていました、まさに、学生の声や批判を暴力的に抹殺して自己を維持しているのが今の沖大当局です。この下で多く沖大生が学費の高さゆえ奨学金やバイト漬けの日々で本当に苦しい日々を送っています。

しかし、この暴力は辺野古や高江と同じように人々の怒りを抑えつけられないがゆえの追い詰められたものです。同じ日の昼休みに16歳の頃から辺野古新基地建設阻止で闘ってきた富田晋さんがキャンパスに登場し、その演説を多くの沖大生が聞いていたことも追い詰められた理由の一つだと思います。この腐りきったあり方を暴露し、これさえも逆テコにして沖大のあり方を変えていきましょう!



10・21国際反戦デーin京都

【10月21日(金)京都行動 要項】

●京都大学キャンパス集会&デモ

11:50~ 京都大学時計台前にて 集会後、デモ

●京都市内デモ 18:30 三条大橋下集合

【主催】全日本学生自治会総連合/京都大学全学自治会同学会中央執行委員会



10・9三里塚集会での動労千葉・田中委員長発言

三里塚闘争が50年間闘い抜いてきたことが、
どれほどこの時代に大事なのかを、つくづく心
に刻み込みながらこの場に立っています。支配
階級は経済的にも政治的にも全部崩れ落ちよう
として、それが戦争と労働者や農民への本当に
生きること出来ないような階級戦争になって
延命しようとしています。50年間国家権力に
屈しなかった反対同盟の闘い、これは本当に日
本の階級闘争の宝だと思います。その闘いが、
市東さんの農地を守る闘いと、国やN A Aが発表した第3
滑走路を建設するというとんでもない攻撃との攻防になっ
て、今ここにあらゆる力をもう一度結集しなければいけな
いときが来た。萩原さんの固い基調報告、決意を受けて、
私たちも共に闘いたい。動労千葉は、反対同盟と共に国鉄
闘争を分割・民営化以来、30年間守り抜いてきました。
反対同盟の50年、戦後最大の労働運動解体攻撃に立ち向
かった国鉄闘争30年、それは両方とも、この時代に対す
る反撃の拠点です。動労千葉は、運転士が次々とたおれる
ような国鉄分割・民営化の全面的な破たんを背景とした攻
撃に、9月13日、16日、27日と工事用の臨時列車を
対象としたストライキを打ち抜いてこの場に結集しました。
もう一方、JRをめぐって、グループ会社ですべての労働
者を5年間で全部解雇にして、選別をし、再雇用されたと
してもそれは最低賃金の労働者、こういう国鉄分割・民営
化を全社会に拡張するような攻撃に対する闘いでした。闘
いははいよいよこれからです。今日は、一つ訴えたいことが
あります。動労千葉は、韓国で本当に不屈の、もっと言っ
てよければ命がけのゼネストを闘い抜いている韓国民主労
総のソウル地域本部と共に、この11月6日に日比谷野外
音楽堂で、全世界の労働者に国際的な団結で、世界を覆う
新自由主義攻撃と、この東北アジア・朝鮮半島での、戦争
を阻止するための集会を呼びかけています。今日集まった
全ての皆さんが、ぜひこの集会に結集をして頂きたい。去



年までの11月集会とは全く違う形でこの集会
は開かれます。それは民主労総のソウル地域本
部から、11月6日の日比谷の集会と、11月
の12、13と開催されるソウルでの民主労総
の労働者大集会、民衆総決起を一つの行動とし
て、全世界に呼びかけようという提起をうけて
開催されるからです。この一連の行動を、東京
―ソウル国際共同行動というふうな名称を名付
けました。なぜ今年、こういうふうに民主労総

と私たちで決断したのか。この集会には動労千葉とソウル
地域本部だけではなくて、今日も結集しておられる関西生
コン、港合同の仲間達が加わっています。今の情勢を見て
下さい。資本主義の危機が、戦争を生みだそうとしている。
中東でそして世界各地で、生き残るために朝鮮半島・東ア
ジアで戦争を生みだそうとしている。日本の労働者は、こ
んな戦争は起こる前に止めなければいけない。もう一方、
安倍政権はこれと一体で、これまでの戦後の労働法制を根
本的に解体する労働者への階級戦争を仕掛けています。こ
れは二つにして一つのことです。そして、この根本が国鉄
分割・民営化から始まったんじゃないですか。だから、私
たちは国鉄分割・民営化反対闘争にこだわり抜いて、ここ
で後退を強いられた日本の労働運動をのもう一回復権を勝
ち取ること、国際連帯で戦争を止めること、そして支配階
級の最後の攻撃である、労働者と農民への階級戦争を止め
ること。この三つを阻止して立ちあがりたいと考えていま
す。もう一度改めて訴えたいと思います。この集会には反
対同盟の仲間たちも駆けつけてくれ、11月6日から12、
13の韓国まで共に行こうという相談になっています。こ
れまでの日本の反権力闘争の、頂点である反対同盟の闘い
と、労働運動再生の闘いと、二つ固く結合して、労農連帯
で社会の根本的変革を勝ち取りませんか。11月6日、改
めてこの集会への今日集まった仲間のみなさんの、結集を
お願いします。

国境をこえた団結で朝鮮侵略戦争と労働法制改悪阻止へ！

11・6全国労働者総決起集会

11月6日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

民主労総11・13労働者大会

11月13日(日) ソウル



<呼びかけ> 全国民主労働組合総連盟ソウル地域本部(民主労総ソウル地本)／国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)
／全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)／全国金属機械労働組合港合同(港合同)